

「みずべ」の歴史その1

水辺の会は「水彩サロン」ではじまった！

2000年5月19日発行の東都よみうり8面には、「江東区の水辺に親しむ会」が誕生という記事が掲載されています。この記事によるとこの年に発足し、3月12日には事実上の発足イベントとして「水彩サロン」が森下文化センターで開催されました。この記念すべき第1回水彩サロンは隅田川鮭の会会長の柳沢弘道さんの講演「河川とくらし」で、さまざまな船で賑わう小名木川のような、葛西橋付近に遊びに行きシジミを取り、土手でヨモギを採った体験談が披露されました。記事には5月に「江東区の水辺と史跡ウォーク」を行うともあります。

新世紀の誕生とはほぼ同時に発足した江東区の水辺に親しむ会も現在約110名の会員数となり、2020年の東京オリンピック開催時には20歳を迎えます。

水彩サロンはいまも続いています。5月20日には田中元子さん(株式会社グランドレベル代表取締役)が「マイパブリックとグランドレベル」というテーマで興味深いお話をしてくださいました。



東都よみうりに載った水彩サロンの新聞記事(右)と田中元子さんの講演の様子(上)



みずべ Mizube

Vol.33



水辺の楽しみ方の発見 ～夜の水彩カフェテラス～

きっかけは些細なことだった。2016年水彩フェスティバルの旧中川・川の駅会場の人出は決して芳しいものではなかった。やはりメイン会場のクローバー橋会場に行く人が多かったのだろうし、川の駅周辺の住民の関心度が低かったのかもしれない。江東区の水辺に親しむ会として出店していた私も正直なところ暇を持て余していた。ところが、日が暮れ始めると思いもかけない風景を目にすることになった。水彩テラス前で、川に向かって飲食している様子である。装飾もない長机と椅子、明かりも足下に置いたもの以外は常設のものだけだったが、昼間とは全く様相を異にする空間が生まれたのである。大人がお酒を飲みながら、その場にいることを楽しめる空間だ。

2017年、江東区の水辺に親しむ会の吉田氏を中心に、川の駅での“大人向け”の空間づくり・づかひの試みを行った。照明デザイン、ビデオインスタレーションのBGVによる効果を施し、暗さの中に身を置きながら飲食や場の雰囲気、さらには昼間では見ることができない川の様子を楽しむことを狙いとした。その結果、多くの方が訪れ、好評を得ることができた。また、思いの外子供も多く、夜釣りや生き物探し以外の夜の楽しみ方を発見してもらえたのではないだろうか。メンバーは、新しい発見との出会いを手伝ったことを嬉しく思

い、今後の展開にも思いを馳せたものである。

実は、2017年は予算がない、時間がない中で、江東区の水辺に親しむ会の吉田氏、須永氏の熱意の下、7月に実質的な準備活動がスタートした。他団体の助成金申請を始め、突貫工事でやった割には大きな成果を得られたと自負する。今年は、準備期間、参加メンバーと、より周到に準備してきているので、9月22日、是非川の駅に足を運び、楽しんで頂きたい。

茂手木功(都市環境デザイン会議)



イベント情報

- 水彩サロン春学期「水辺に係わり、水辺を楽しむ 江東区の水辺とまちづくり」
夜の水彩カフェテラス 6月17日(日)14時～ 講師:茂手木功(都市環境デザイン会議)
海外の水辺とまちづくり 7月15日(日)14時～ 講師:庄司邦昭(東京海洋大学名誉教授)
- 明治丸シンポジウム 2018年7月16日(月、祝)東京海洋大学 越中島
- 夜の水彩カフェテラス(第2回) 2018年9月22日(土)旧中川川の駅
- 第19回水彩フェスティバル 2018年9月23日(日)小名木川クローバー橋
- リバーツアー「隅田川巡り」 2018年10月14日(日)
- 高橋船着場を活用した舟遊びとカフェ 2018年11月3日(土)、4日(日)
- 区民協働フォーラム 2018年11月17日(土)豊洲がすてなーに

原画の所有者林様から許可を頂いて江東区の水辺に親しむ会が絵葉書を作りました。最後の川並である木場の赤太郎こと石井赤太郎さんが描いた明治の江東風景です。購入をご希望の方はご連絡下さい。4枚セットで300円です。



2017年の活動

昨年も皆様のご協力で多くの事業を行うことができました。ありがとうございました。
今年も様々なイベントを企画しておりますのでご参加、ご協力よろしくお願いたします。

record in 2017



Spring, Summer

春, 夏

Autumn, Winter

秋, 冬

1 第13回お江戸深川さくらまつり

平成29年3月25日(土)から4月9日(日)に開催され、水辺の会では黒船橋下において案内所を開きカフェ、休憩所を開設しました。



2 C I G

豊洲の中学校でプランターに花苗を植える講習を行いました。



3 水彩サロン春学期

臨海部(過去・現在・未来)見学というテーマで森下文化センター内での講演と、センターに集合して江東区内を見て回りました。

第1回: 5月28日(日) 13時~17時: 水辺探訪その1 臨海展望台(これまでの臨海副都心の開発を振り返る)
講師: 森本副理事長

第2回: 6月18日(日) 13時~17時: 水辺探訪その2 若洲周辺(これからの臨海部を見渡す)
講師: 森本副理事長

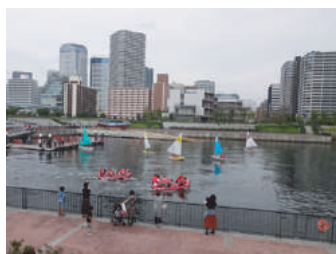
第3回: 7月16日(日) 14時~16時: 世界に開く東京湾臨海部「欧州の港と比べながら東京湾臨海部の過去・現在・未来を語る」講師: 高松亨氏

4 明治丸シンポジウム

7月17日(月・海の日のための祝日)に明治丸が拓いた小笠原との航路というテーマで開催しました。小笠原と明治丸の関係が分かる歴史の話に加え、okeiさんによる小笠原古謡も聞くことが出来ました。

5 セイラビリティ東京の活動

豊洲において体験乗船会を開催しました。



6 リバーツアー

今もっともアツい場所湾岸地域でリバーツアーを開催しました。建物が竣工したオープン前の豊洲市場やこれからどんどん変化していく湾岸エリアを水辺から見学しました。



7 第18回水彩フェスティバル

9月24日 第18回目がクローバー橋にて行われました。小名木川の両岸が整備され、より水辺が身近になり、屋形船、カヌー体験など大変な賑わいです。会場では子供たちの楽しそうな声が一月中響き、年々水辺への関心が高まってきていると実感しました。



8 夜の水彩カフェテラス

都市デザイン会議の公募型プロジェクト助成金により9月24日に開催しました。(表紙参照)

9 KOTO水彩都市フォーラム2017 水辺、スポーツ、みどり 豊洲の未来を語ろう!

10月3日 豊洲シビックセンターホールにて開催されました。マンション、ビルの多く立ち並ぶ現在からは想像もできない豊洲の昔の様子の話は大変興味深いものでした。その後、スポーツ、水辺、みどりと3つのテーマに沿ってこれからの豊洲の可能性についての提案がありました。また、地元の豊洲アイドルスター学園の元気いっぱいのかわいいスターたちが会場を大いに盛り上げてくれました。豊洲のこれからの活気あふれる明るい未来に期待が持てそうです。



10 水彩サロン秋学期

路線バスで巡る、墨東の川めぐりというテーマで森下文化センター内での講演と、センターに集合して墨東を見て回りました。

第1回: 9月17日(日) 14時~16時
墨東四区(向島、本所、深川、城東)にみる東京の発展
講師: 久染健夫氏

第2回: 10月15日(日) 13時~17時
墨田区の河や橋を見てみよう、講師: 森本副理事長

第3回: 11月19日(日) 13時~17時
江東区の河や橋を見てみよう、講師: 森本副理事長

11 「ロボット船が描く東京イーストベイ エリアの水辺の未来」シンポジウム

本会が主催する「ロボット船が描く東京イーストベイエリアの水辺の未来」が2018年2月28日に開催されました。パネラーの方々が語る水辺の未来像はこれから目指す方向性を伺わせるものでした。

12 リバーフェスタ江東2018

「リバーフェスタ江東2018 ここが!!水辺ゆうえんち」が旧中川川の駅周辺で3月17日(土)、18日(日)に開催されました。



13 「江東内部河川の活用による、江戸・東京の下町文化の再発見と地域活性化事業」

「一般社団法人 関東地域づくり協会」の助成金により、パッケージ型舟運ツアーの実現可能性について調査し報告書を提出しました。調査に当たっては芝浦工業大学 遠藤 玲教授および田島卓昌学生に協力していただきました。